

日立の海外鉄道事業の概況と市場動向の考察

日時：4月28日（火）16:50-18:35
オンライン講義によるライブ実施

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、株式会社日立製作所 執行役常務、ビルシステムビジネスユニット CEO 光富 真哉氏からお話を伺います。

世界の鉄道需要は堅調に伸長している一方、中国の巨大車両メーカーの誕生に端を発して、産業界は合従連衡の動きが急となっています。日本勢は官民連携によるインフラ輸出を推進しつつ、標準化戦略やオペレーター主導の海外進出において欧州勢を追従しつつあります。

日立は2000年頃から英国市場参入を見据えた取り組みを開始し、2015年にはイタリアの老舗鉄道車両メーカー、また信号およびターンキープロジェクトを得意とする信号メーカーの買収契約に調印し、鉄道プレイヤーとしての国際的なプレゼンスを獲得しつつあります。

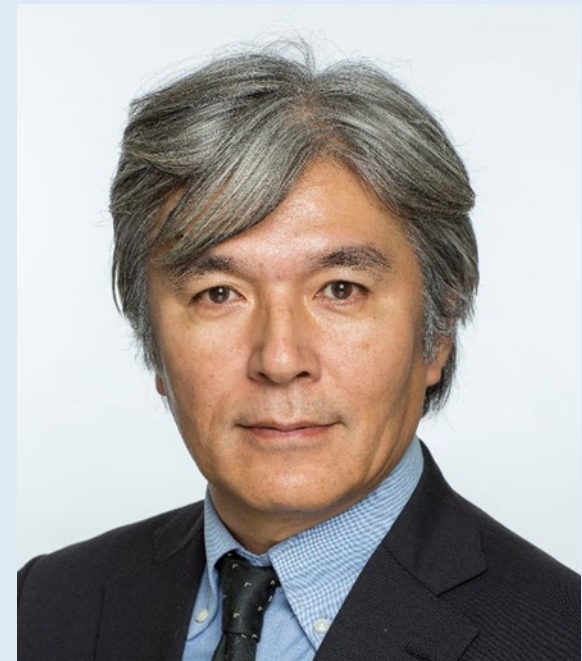
本講義では、業界の動向を踏まえ、日本企業による海外鉄道事業の取り組みと今後について考察します。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生もアクセス願います。

（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。ご注意ください）。

（※オンライン授業URLは授業開始前にUTASで確認すること。講義資料はITC-LMSIにおいて授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。）

－問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp－



株式会社日立製作所
執行役常務
ビルシステム
ビジネスユニット CEO
光富 真哉氏